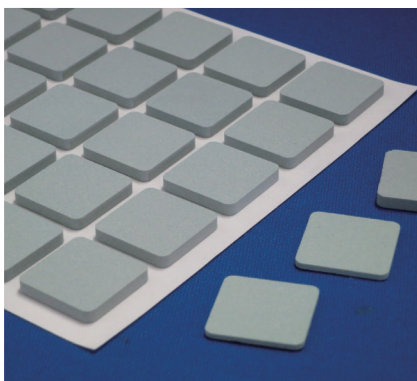


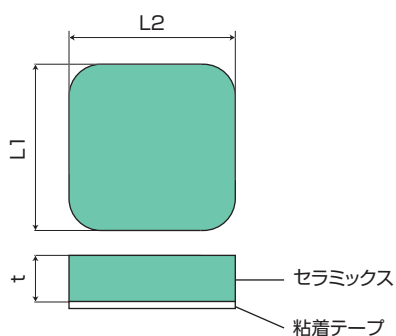
セラコールド / CECD



絶縁性に優れた多孔質セラミックスヒートシンク

特 長

- アルミよりも熱放射率が良く、多孔質セラミック素材による表面積拡大で、放熱効果を向上させています。
- アルミよりも30%程度軽量です。
- 絶縁性に優れているので金属ヒートシンクのようにヒートシンクからの電磁波放射がありません。



(単位:mm)

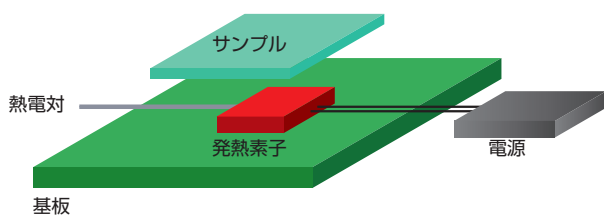
品 番	厚み t	L1	L2
CECD-1.5-020020T	1.5	20	20
CECD-3.0-020020T	3.0	20	20
CECD-3.0-040040T	3.0	40	40

(測定による測定値であり、規格値及び保証値ではありません)

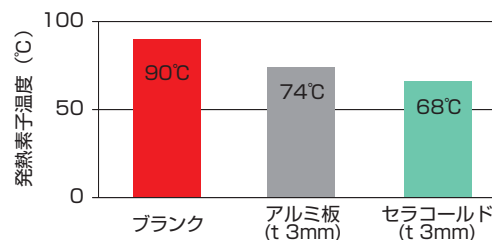
試験項目	単位	規格	CECD
熱伝導率	W/m·K	JIS R 2616 (熱線法)	11.5
色調	—	—	グリーン
比重	—	JIS Z 8807	1.95
体積抵抗率	$\Omega \cdot \text{cm}$	JIS K 6911 準拠	$\geq 10^8$
使用温度範囲	$^{\circ}\text{C}$	—	-40~125

放熱効果

熱伝導特性



ヒートシンクの放熱効果

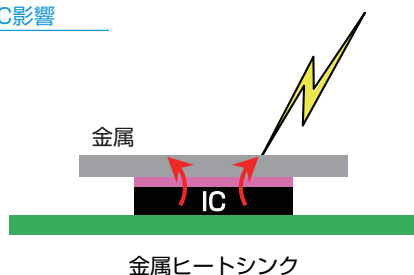


〈測定条件〉

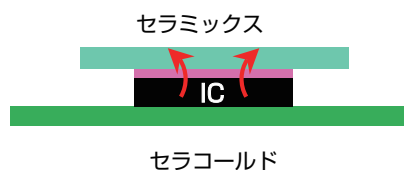
発熱素子 : □10mm(1.6W)

試料寸法 : □20mm(t3mm)

EMC影響



金属のヒートシンクは、ノイズを放射するアンテナになる
 静電結合により IC のノイズ電流が移行
 ⇒放射ノイズ



絶縁性のため静電結合がなく
 またアンテナとして機能しない